

The Society for Biotechnology, Japan / Annual Meeting 2017

第 69 回 日本生物工学会大会

東ソー ランチオンセミナー



9月12日(火) 11:45 - 12:45

G 会場 (52 号館 202 室)



演題 バイオ医薬品生産における品質制御～細胞から抗体まで

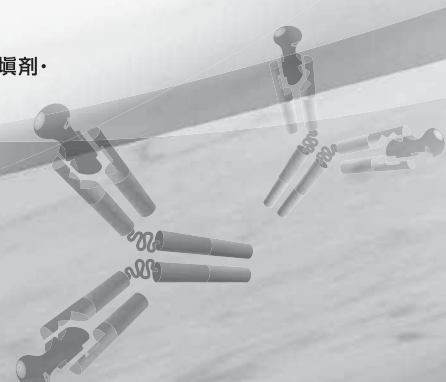
演者 大政 健史 先生

(大阪大学大学院工学研究科教授・徳島大学客員教授・神戸大学客員教授)

バイオ医薬品は、その高機能性と薬効の高さに注目されがちではあるが、その生産の難しさにも特徴がある。バイオ医薬品の製造プロセスの多くはまさに生体そのものである生物(微生物、動物細胞等)を利用する手段が用いられている。言い換えれば、これらを生産する手段は、「生きた生物を用いる」生物反応であるため、生物そのものを人工的に操作する必要がある。逆に言えば、生物そのものの不確定性や、生産物が持つ本質的な不均一性を解決し、Rationalなデザインを実現していくことが真に求められている必要な技術である。特に高等真核生物は、複雑な分子も生産可能であるが、用いられる工業用生物が複雑であればあるほど、その生物自身を自在に操って生産させ、さらにこれを統括する技術も高度なものが求められる。

これらの背景を受けて、小生がプロジェクトリーダーとなってAMED「国際基準に適合した次世代抗体医薬等の製造技術」プロジェクトを開始しており、このプロジェクトの実行推進の目的で次世代バイオ医薬品製造技術研究組合が設立されている。本講演ではこのプロジェクトのうち、セルエンジニアリングとその品質分析に関する事柄を中心に開発された技術と今後の課題について紹介する。

その他、東ソー株式会社より、新規抗体精製用アフィニティー充填剤・抗体定量用カラムのご紹介をさせていただきます。



東ソー株式会社
バイオサイエンス事業部

本社 / 〒105-8623 東京都港区芝3-8-2 芝公園ファーストビル
TEL 03-5427-5180 FAX 03-5427-5220

大阪支店 ☎ (06) 6209-1948 名古屋支店 ☎ (052) 211-5730
福岡支店 ☎ (092) 781-0481 仙台支店 ☎ (022) 266-2341
山口営業所 ☎ (0834) 63-9888

<http://www.separations.asia.tosohbioscience.com/>